

# 「元請け化」至上命題 ジャパム

ジャパムグループ（田頭千恵社長、渋谷区）は18年も「元請け化」を至上命題に掲げている。事務仕事を担う女性社員のオールマイティ化を最優先に、他社との違いを鮮明に打ち出す戦略を推進。理想とする企業像へ近付くため、営業力の底上げに傾注していく。

「単に荷物を運ぶのではなく、温もりを運ぶという姿勢で仕事をしている」。田頭社長の一貫したスタンスは、営業成績にも着実に表れており、元請けとしての仕事の比率は7割まで伸長。18年は8割に引き上げたい意向で、女性社員のオールマイティ化がカギを握ると認識している。

自身を含めた女性スタッフが事務を手掛ける中、「営業や下見など顧客との折衝に全員が当たれる態勢を構築する」。女性ならではの

ジャパムグループの海外引越は荷物を運ぶだけではありません。

新しい環境で快適な生活がスタートできるよう、ご家族で育ててきた生活のぬくもりも運びます。

海外へのフルサービス

Storage  
短期・長期を問わず、大切な家財や思い出の品をお預かりします。

Support  
女性スタッフが家族（女性）の目線で引越をサポートします。

Reasonable  
家具や荷物の量に合わせて最適なオススメをご紹介します。

Door to door  
お住まいの部屋から新しいお部屋までお届けするのでラクラク!

Careful  
大切な品や傷れやすいものは女性スタッフが丁寧に梱包します。

Everything  
不用品の回収・処分、お部屋の模様替えなどもお手伝いします。

温もりを運ぶという姿勢で仕事をする

を実現したいという。「研修内容の充実によるスキルやノウハウの継承、雇用形態の多様化も検討していく」。他社との比較優位を決定付ける大きなファクターとして、現場力の維持と強化も喫緊の課題に挙げる。

田頭氏は「賃金を2割増しにしないと人が入ってこない時代。取り巻く環境は厳しいが、間違い無くチャンスでもある。現場を持つ会社は勝てる」と確信している。営業力をアップさせることにより、完全なる元請け化と売り上げの倍増を目指していく」と話す。